

# 山形県森林技術職員等研修会に参加しました

## ～クマ剥ぎ（※）被害の発生状況と対策～

令和6年5月29日、山形県森林研究研修センターが主催する研修会に当署から2名の職員が参加してきました。

この研修会は、各総合支庁森林整備課の林業普及指導員等を対象に、基礎知識を習得させ資質向上を図るために実施されているものですが、山形県内に広がりを見せているクマ剥ぎ被害についての研修会であったことから、関係する森林管理署や市町村にもお声掛けいただいたものです。

研修会は、①「クマハギの発生状況と被害対策」についての講演 ②「クマハギ被害防除マニュアル」の説明及び演習 ③クマハギ防除手法の実習、という内容で行われました。

特に②の「クマハギ被害防除マニュアル」の説明及び演習では、グループ（地域毎）に例題をいくつか用意し、**対象地の被害状況や周囲の被害状況の確認 → 対象地の造林目標設定 → コスト試算ツールを活用したコスト試算 → 防除をするかしないか → するとしたらどのような手法で防除を実施するか。**についてグループ討議を行いました。この方法であれば、周囲の被害状況と対象地の条件等によりどのように対応することが効果的であるかを見いだすことができ、実際の被害現場においても有効であると感じました。



研修会の様子



グループ（地域）毎に対策を検討

置賜地域では、被害が民有林、国有林問わず拡大していますが、研修会等で得た知識や技術を普及させるとともに、「置賜森林業病害虫獣協議会」と連携しながら防除対策等を行い、クマ剥ぎ被害に負けない森林づくりに取り組んでいきます。

置賜森林管理署：森林技術指導官

（※）クマ剥ぎとは、ツキノワグマがスギ等の樹幹下部の樹皮を剥す行為で、剥皮により材質低下や枯死に至る。